

令和5年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第4回）

会議の概要

- 会議名 令和5年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第4回）
- 開催日 令和6年2月19日（月曜日）
- 出席状況 東京都、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、板橋区、練馬区、江戸川区、国土交通省
- 議事の要旨
 - * 国土交通省より、羽田衝突事故と騒音測定結果、部品欠落報告等について説明

【国土交通省から羽田衝突事故に関する報告】

- ・ 国土交通省より、1月2日に羽田空港で発生した日本航空516便と海上保安庁機の衝突について、事故概要、滑走路の運用状況・旅客への影響、調査及び捜査の状況等、国土交通省の対応について説明があった。

【主な意見及び国の回答等】

- ・ 1月2日の事故について、様々な対策を講じていただいているところである。本日の報告内容については事前に区長にも報告を行っており、区長から、事故の原因究明、並びに再発防止に向けた安全対策の徹底を要請したい、といった言葉を預かっている。この場を借りて要請させていただきたい。

⇒要請について重く受け止めている。再発防止に向けて、引き続き最善の策を講じていく。

例年と比べて南風の運用割合が増えているが、Ldenにも影響はあるのか。

⇒測定局毎にそれぞれ北風時、南風時、どちらの騒音を主な測定対象としているか傾向がある。南風が増えることによって、南風時の騒音を主対象としている測定局においては測定回数が増えるため、Ldenの数値も上昇するものと考えられる。

- ・ 1月2日の衝突事故について、緊密に情報提供いただき感謝を申し上げる。1月9日の緊急対策、また有識者による検討会の立ち上げ等、対応を進めていただいているところであるが、原因究明、再発防止の取組について、今後も推進していただきたい。事故については国のホームページでも情報発信を行っていたが、中には専門的な用語もあり分かりにくいといった声がある。分かりやすい言葉に置き換える等、丁寧な情報提供をお願いしたい。また、結果的に運用はされなかったものの、A滑走路からの北向き離陸の緊急措置について、当運用が先例として今後も活用されることが起こらないよう、ご対応いただきたい。

また、固定化回避に関して、まずは安全を第一に検討を進めていただき、検討結果については早急に取り纏めいただきたい。

⇒事故の原因究明については運輸安全委員会の調査に協力しつつ、再発防止策についてはその結論を待つことなく取り組んでいく。ホームページでの情報発信についてもわかりやすく、丁寧な発信を行うよう取り組む。具体的な提案等があれば相談させていただきたい。

A 滑走路北向き離陸について、実際には運用されなかったが、ご要望は重く受け止める。緊急の対応については、引き続き皆様ともご相談させていただきながら定めていく。また固定化回避検討会について、残された技術的な検証作業について速やかに進めていく。これまで安全性の確保を大前提に取り組んできたが、今回の事故を受けてより一層意識を高めつつ、残された作業を速やかに進めていく。

以上